

神の母

神さまはおん子の受肉によって人類の救いを達成

しようと望まれたときから、マリアさまをそのすくい

主の母としてお選びになりました。「あなたはみごも

つて男の子を産むでしょう。その名をイエスとつけ

なさい」。マリアさまは深くへりくだりながら信仰を

もつて、「お言葉の通りこの身になりますように」と

お答えになりました。こうして神のおん子は、私た

ちのため、また私たちの救いのために聖霊によって

おとめマリアさまから体を受け、人となられました。

イエスさまが幼年時代ばかりでなく、公生活中、救

いのわざを続けられる

間、マリアさまは信仰をもつておん子のあとをた

どり、十字架のもとでは母の心をもつておん子の

奉献にご自分を合わせておささげになりました。

ヨハネ福音書によると、イエスさまは愛する弟子と

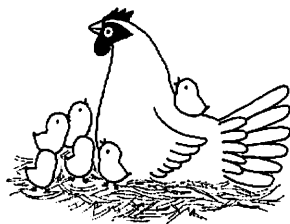
一緒に立つておられるマリアさまに「婦人よ、この人

はあなたの子です」と、また弟子には「この方はあな

たの母です」と仰せになりました。そしてこの愛する

弟子はマリアさまを自分の家に引き取りました。そしてこのことはイエスさまの母が私たちの母となり、教会の母ともなられたことを教えるものです。じつさいマリアさまは使徒たちが約束の聖霊を待っていたとき、聖霊が与えられるよう、かれらとともに祈り求めました。

マリアさまは私たちのために祈り、母として見守ってくださいます。マリアさまはただ私たちばかりでなく、まことの救いを探しているすべての人に対しても母の心をもって取りなしておられます。



みんなのお母さんが家庭ではどんな役割を果たしているか考えて、次の空白に書いて下さい。

